

【試合結果】

女子 決勝トーナメント 3位決定戦										
日時	平成30年12月24日 (月) 11:40 ~									
会場	江別市民体育館									
結果	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="text-align:center;">○</td> <td style="width:50%;"></td> <td style="text-align:center;">●</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">北星学園女子中 札幌</td> <td style="font-size:3em; vertical-align:middle;">}</td> <td style="text-align:center;">札幌東月寒中 札幌</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center; font-size:2em;">63</td> <td style="vertical-align:middle;"> 17 - 11 11 - 10 17 - 14 18 - 11 OT </td> <td style="text-align:center; font-size:2em;">46</td> </tr> </table>	○		●	北星学園女子中 札幌	}	札幌東月寒中 札幌	63	17 - 11 11 - 10 17 - 14 18 - 11 OT	46
○		●								
北星学園女子中 札幌	}	札幌東月寒中 札幌								
63	17 - 11 11 - 10 17 - 14 18 - 11 OT	46								
審判	主審 村井 淳一 副審 川島 貴裕									

第33回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

北星学園女子中		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	中野 莉来	×	11	1	4		2	3
5	深井 日菜	×	20		10		8	2
6	菊原 真悠	DNP	0					
7	齋藤 紗月	DNP	0					
8	須合 泉月	×	11	3	1		7	2
9	富樫 咲絵	×	8		4		6	2
10	田中 陽菜	×	13	1	5		4	1
11	磯角 梨々花	/	0				3	1
12	宮本 咲来	DNP	0					
13	柳田 美良来	DNP	0					
14	鈴木 ちひろ	DNP	0					
15	杉本 あいみ	DNP	0					
16	大澤 杏奈	DNP	0					
17		DNP	0					
18	0	DNP	0					
HC	小倉 隆也							
合計			63	5	24	0	30	11

札幌東月寒中		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	荒川 璃子	×	0					1
5	岡 優芽	DNP	0					
6	金丸 七海	×	9	1	2	2		
7	高橋 仁菜	/	2		1		4	
8	堤 彩乃	/	0					1
9	鈴木 真音	×	12		5	2	2	1
10	南 青空	×	14	2	3	2	4	
11	松本 彩良	DNP	0					
12	内山 悠	×	9	1	3		4	3
13	附田 莓香	/	0					
14	長濱 歌乃	DNP	0					
15	田中 千裕	DNP	0					
16	坂田 麗美	DNP	0					
17		DNP	0					
18	0	DNP	0					
HC	寺田 圭佑							
合計			46	4	14	6	14	6

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

北星女子④、⑤、⑧、⑨、⑩
 東月寒④、⑥、⑨、⑩、⑫

東月寒は3Qからのマンツーマン、北星女子はハーフコートマンツーマンからスタート。
 東月寒の⑫のファーストシュートからゲームが動く。続けて積極的なドライブから得点を重ねるが、北星もドライブからのショットとリバウンドからのショットでついていく。残り3分、北星は連続リバウンドから10-6とリードするも東月寒は速攻ですぐに得点を入れ返す。残り20秒で⑩の3Pを決め、17-11と北星リードで2ピリオドを迎える。北星⑤はこのピリオド8得点の活躍。
 2ピリオド東月寒は北星のDFを攻略できず、苦しいOFが続く。開始6分、北星④の3Pとドライブからのショットで22-11とリードする。しかし、東月寒も⑫の3Pで食いつながる。残り4分52秒、東月寒⑫が個人ファールを3つしたところでタイムアウト。北星のDFの強さは変わらず、東月寒は苦しいアウトサイドのシュートになってしまい、なかなか得点を伸ばせない。そんな中、残り2分30秒で東月寒⑩がドライブからのショットを決め、26-16の10点差に戻す。1分18秒で東月寒⑨のバスケットカウントで26-19とすると、東月寒のミートからのトップからのドライブで得点を伸ばし、28-21北星が7点のリードでハーフタイムを迎えた。
 3ピリオド、東月寒は1-4のセットオフenseからスタートし、OFのリズムを掴もうとする。その作戦が功を奏し、裏へのパスからバスケットカウント、ペー斯拉インプレーで30-25と点差を詰める。しかし、北星は⑩のドライブからのショットと速攻で、残り4分30秒で34-25と引き離す。東月寒はドライブ、北星はバスケットからのショットで得点を伸ばす。東月寒⑩の3Pで38-33と5点差とするが、残り2分で北星の速攻が決まり、40-33、⑧の3Pで43-33とまた10点差とする。東月寒はゴール下にボールを集めるもミスが続き、得点が伸ばせない。東月寒⑦のオフenseリバウンドからのショットで点数を詰めるも、すぐさま北星のオフenseリバウンドからショットで取り戻し、45-35と北星リードで4ピリオドを迎える。
 4ピリオド、北星⑤のリバウンドからのショットで得点。北星は速攻からのショットで得点を伸ばそうと試みるが、決めきれず引き離せない。東月寒は裏へのパスから得点を試みるが、ミスが続き得点を伸ばせない。早いパス回しからの3Pで残り5分で50-37と引き離す。⑧の連続3Pと速攻で残り3分で55-37と一気に引き離す。残り2分30秒で東月寒⑫の3Pや⑩のフリースローなどで食いつながるも、終始機動力をいかしたバスケットで北星が63-46で勝利し、南大会3位に輝いた。

記録 竹治 義規